

組織における個人の関係性のなかで
クリエイティビティを発揮させる対話を用いた方法論の提案
【 要 旨 】

ソーシャル・イノベーション研究科
ソーシャル・イノベーション専攻
2024年3月 修了
沼井 大志

【要旨】

筆者は建築の仕事に従事していた経験があり、状況が変化し続ける建築のプロジェクトにおけるメンバーたちのコミュニケーションのなかにクリエイティビティが発揮されていたのではないかと考えた。より良い結果を目指そうとする時、メンバーたちが様々なアイデアを出し合い、対話的なコミュニケーションを通じて、アイデアを選択していくという営みのなかで起きていたことを明らかできれば、他の組織においても個人の関係性のなかでクリエイティビティを発揮することができるのではないかと考えた。

そこで本研究では、組織行動論のクリエイティビティに関する先行研究と組織開発論における対話型組織開発という組織介入手法のアプリシエイティブ・インクワイアリーの先行研究を理論的に整理し、組織における個人の関係性のなかでクリエイティビティを発揮させるための対話を用いた方法論について考案した。そして企業の協力を得て、その方法論の効果を実証するために、実証実験を行いその効果を確認した。

その実証実験の結果を踏まえ、組織における個人の関係性のなかでクリエイティビティを発揮する対話の方法論について提案した。